

2020.10.22 (木)
第15回例会
(通算 3609 回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博
副会長 土橋 賢一
幹事 荒井 剛
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2020-2021 年度
国際ロータリーテーマ



ロータリーは世界の扉を開く
2020-2021 年度
RI 会長 ホルガー・クナーク
第 2500 地区ガバナー
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間・米山月間
本日のプログラム	釧路ロータリークラブ創立 84 年記念並びに泉 敬会員在籍 60 周年祝賀例会 (担当：理事会)
次週例会	「情報集会報告会」(担当：クラブ研修委員会)

- ロータリーソング：「我等の生業」
- ソングリーダー：濱 谷 美津男君
- 会員数 99 名
- ビジター なし
- ゲスト ハープ演奏者 板本 絹子様

会長の時間

舟木 博会長

皆さん、こんばんは。本日、11月19日は第三木曜日ということで、皆さんが思い浮かべるのはワインの「ボジョレーヌーボーの指定解禁日」ですか。今日は残念ながら用意していません、違うワインが置いてあります。今日は同じ日で「緑のおばさんの日」という方もおいででしょうが、全然、受けないのでやめます。

余談ですが、解禁日が1984年までは11月15日と決められていたそうです。土日の場合はワインの運搬業者が休むため平日の第三木曜日と決められたそうです。いずれにせよ日本は時差の関係でフランスより8時間早く、なんとアメリカより13時間早くワインが飲めます。ワイン好きの方はその新酒を今晚、存分に楽しんでください。

本日の例会タイトル『釧路ロータリークラブ 84 周年』のはじめの年にちなんだ話を少しさせていただきます。

1936年、昭和11年11月23日、チャーターメンバー30名、日本で20番目、道内では7番目のクラブとして産声をあげました。現在まで84年の歴史と伝統を誇っております。

84年前の昭和11年には何が起こっていたかと申しますと、陸海軍の青年将校による『2・26事件』。3カ月後の5月18日は有名な痴情事件の『阿部定事件』がありました。あれだけのことを起こして懲役は何と6年程度でした。ちなみに原因は夫の浮気という

ことでした。皆さん、気を付けてください。海外では7月17日にフランコによるスペインの内乱があり、8月1日にはベルリンオリンピックが開催され、女子200m平泳ぎで「前畑がんばれ」で有名な前畑秀子さんが金メダルを獲得しております。以上が昭和11年の主な出来事です。

現在、当クラブは会員数100名。2500地区で一番の会員数を誇っております。当会が奉仕活動を通じて90年、100年と続くことを希望して已みません。

また、本日は泉会員の在籍60年祝賀会でもあります。この歴史と伝統を誇る釧路ロータリークラブで何と在籍60年を迎える泉会員のお祝いができることは無上の喜びです。多分、釧路ロータリークラブ創立以来、これほどの在籍は初めてのことと思います。一口に60年と申しましても年会費だけでも釧路だと家が1件買える金額になります。

さて、今回は60周年の記念品の盾とともに前に飾らせていただいております『さざれ石』を用意させていただきました。国家の歌詞のように、泉さんが千代に八千代にお元気でいられるように願いを込めて選びました。どうぞこれからも釧路ロータリークラブのためによりしくお願い申し上げます。

なお、泉会員からは在籍60年にかけてたくさんのご奉仕をいただき、会場入り口にある皆さまの書籍ボックスを木の立派なものに新調させていただくことになっております。本当にありがとうございます。会員を代表してお礼申し上げます。

ここで、話題は変わりますが、釧路ロータリークラブの『休会規定』の話をさせていただきます。本件は特に小船井パストガバナーの協力をいただき、R I および他地区の規定を参考に作成されたものです。退会防止を目的として理事会で討議を重ね、コロナウイルスによる非常事態に対応すべくスピード感をもって作られました。12月3日の年次総会において細則改正についての審議をいただく予定であります。いろいろな意見があると思いますが、詳細は文面をもって確認していただき、今後の指針と理解していただければ幸いです。

休会規定改正案と資料につきましては近日中に皆さまに配布させていただきますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、ハーブによる贅沢な時間を、静かに静かにご堪能いただければ幸いです。ありがとうございます。

新入会員紹介

スポンサー 邵 龍珍君



皆さん、お疲れさまでございます。私事なのですが、18年在籍して今回初めてのスポンサーということで東堂さんには心から感謝しております。

ご紹介させていただきます。東堂光春さん、会社が株式会社東光電機工業・代表取締役でございます。ソーラーパネルなどの事業です。私のソーラーパネルの蓄電池を購入した際にご縁がございまして、「ロータリーにどう」と言ったら「いいよ」と二言で快く受けていただきまして、本日のご入会になります。

ご家族が5人で、娘さんがお一人、息子さんお二人。その娘さんが『コンサドーレ札幌』の女子チームのポイントゲッターで、この間、釧新に大きく載っていて、本当にご活躍されていて。そのためにご家族が札幌で暮らしていますので本人は単身赴任ということで、夜な夜な末広を歩いていると聞いています。あと、ゴルフが趣味ということで、ハンディは14ですので、ナユタの会にご入会いただければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、自己紹介をお願いいたします。

新入会員挨拶

東光電機工業株式会社 代表取締役 東堂 光春様

皆さん、はじめまして。東堂光春と申します。この度は歴史と伝統のあるロータリークラブに入会させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。



今、ご紹介はありましたが、私の父親が数年前までロータリークラブに在籍していたということで、本当に歴史のあるロータリーさんに私も入会させていただくということで、今後、もっと頑張っていきたいなと思います。よろしくお願いいたします。

歓迎の挨拶 舟木 博会長

本日は記念すべき84回目の釧路ロータリークラブ創立記念例会での入会、誠におめでとうございます。昨今のコロナ騒ぎでもっと早く会員の皆さまとお会いできたとは思いますが、本日無事入会されたことを会員一同、歓迎いたします。

なお、配属委員会は青少年奉仕委員会になっております。古谷委員長、いらっしゃいますか。そちらが委員長ですのでよろしくお願いいたします。

東堂さんは旭川の東堂パストガバナーのご親戚筋と聞いております。これからのご活躍を期待しております。ありがとうございます。

■本日のプログラム■

釧路 RC 創立 84 年記念並びに泉 敬会員在籍 60 周年祝賀例会

親睦活動委員会 佐藤 貴之委員長

本日の司会を仰せつかりました佐藤でございます。よろしくお願いいたします。

これより釧路ロータリークラブ創立84年記念ならびに泉会員在籍60周年祝賀例会を開催いたします。板本さま、準備をお願いいたします。

皆さまへのお願いでございます。これよりハーブの演奏がございまして、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただくようお願いいたします。

当クラブは1936年30名のチャーターメンバーによって設立され、その後、一度は国際ロータリーを離脱したのち、1950年に再度25名のリ・チャーターメンバーによって再スタートいたしました。泉敬君のお父様もリ・チャーターメンバーのお一人でございました。

以来、脈々と伝統が受け継がれ、多くの諸先輩方に支えられてまいりました。

ここで昨年ご逝去されました白崎功一君ならびに栗林定徳君をはじめ、これまで釧路ロータリークラブの発展にご尽力いただきました諸先輩方に感謝をいたしまして、追悼するために『千の風になって』を演奏していただきたいと思っております。

それでは、お願いいたします。

(ハープ生演奏 「千の風になって」)

クラブ運営委員会 滝越 康雄委員長



皆さん、こんばんは。今日の例会はサブタイトルでご覧のとおり、当クラブの創立記念 84 周年と泉大先輩会員の在籍 60 年の記念すべき例会のテーマに何が

いいか考えたのですが、思い切って音楽例会かなと。私、今日の演奏者・板本さんにご縁があったので、久しぶりに昔のメモを取り出して、電話で「坂本さんですか」と言ったら「坂本でございます」ということで笑いましたけども、皆さん、その旨をご認識ください。ご主人が公立大の 3 期目の学長さんでしたので、それのご縁で釧路に在籍されております。

プロフィールはご覧の通り、皇室にも出入りされた方でございます。もともとハープというと貴族の楽器ですから釧路ではもう聞けないし、お弟子さん達も東京に行ってしまうと、こっちで演奏するとなったら旅費がかかって、お聞きになる機会はないと思います。最初で最後かもしれません。せっかくの機会ですので、今年はどういういやらしい年を振り返ることもないですが、断ち切る意味で「癒しとくつろぎの時間」を最後までお楽しみください。以上です。

ハープ演奏者板本 絹子様

皆さま、こんばんは。板本絹子でございます。私が釧路にお嫁に来てから 45 年が経ちました。ですから、昭和の時代に釧路に来ましたので、それからの付き合いになります。今日は泉さんが 60 周年ということで、私もハープを始めて来年で 60 年になります。小さい頃からやっているのですが、私が始めたのは小学校 3 年生の時です。



その頃、一躍有名になった皇太子妃の美智子様がハープをおやりになっていたご縁で、たびたび東宮御所に伺って演奏したり、私の恩師の先生が美智子様とハープについて語るのが大好きというご縁もありまして、小学校 5 年生の時と中学校 2 年生の時の 2 回、東宮御所に伺いました。今の天皇であらせられる浩宮様の時代、小学校 1 年生で、とても大人しく聞いていた

のをよく覚えております。

さあ、今は寂しいような『大きな古時計』で始まりましたが、音楽というものは、皆さまがご存じの曲をこのハープでやってくれたら、こういう音になって、心の中にこんな風景が浮かんだ、というので語り合えると思っているのです。

今回はパッヘルベルの『カノン』です。よくクリスマスの時期になると BGM で聞かれますね。このカノン、ちょっとつまらなくもなっていますが、精神安定剤のような。何故かといいますと、このコードの次にはこのコードが絶対にくる、またこっちのコードになると、やがて元のコードに戻る。ジャズの世界はそのような感じなのですが、期待を裏切らないコード展開なので



すね。ですから、安心して聞いていただけるのです。その中でメロディーがいろいろ動いてみたり、細かく刻んでみたり、というのをコードの落ち着いた中で、皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

それでは、パッヘルベルの『カノン』よろしくお願いたします。

(ハープ演奏)

ハープ演奏者板本 絹子様

ありがとうございました。つまらなくなかったですか。

プログラムに載っています『引き潮』、かなり年上の方は昔の映画『引き潮』、ウェブタイプでご存じかと思えます。ラブロマンスです。これはハープのオリジナル曲なのです。このロバートマークスベルという方がこの 1 曲だけで有名になって、その後は、鳴かず飛ばず、です。でも、とても素敵な曲で、私がハープを始める時には、うちの両親がこの『引き潮』のレコードを買ってきたのですよ。それほどハープというこの曲が好きの方が多くははずなので、ちょっと難しくはありますが頑張っただけでやらしていただきたいと思います。

その後、最後に皆さんがよくご存じの『愛燦燦』、小椋佳のとても素敵な曲で美空ひばりさんが歌って非常に有名ですが、私はどちらかというと小椋佳さんのイメージが好きなので、愛が燦燦と降りそそぐ形で終わらせていただきたいと思います。2 曲続けてよろしくお願いたします。

乾杯のご発声 小船井修一パストガバナー



優雅な時間、本当にありがとうございました。また、東堂さん、入会おめでとうございます。東堂明パストガバナーは旭川北クラブ、われわれは親しくさせて

いただいております。

そういう中で泉会員のロータリー歴60年、本当に前人未到と私は思います。この地区の中でも私には記憶はありません。清水パストガバナーが55年、あと5年後です。吉田直前ガバナーが40年以上、打矢さんが50年。そういう意味では私はまだ37年目ですので、まだまだ先は長いのですが、歴史と伝統のある釧路クラブの中で60年を祝うことができることは喜びに堪えません。

皆さん、喉が乾いていると思いますので、まず乾杯させていただきますながら懇親深めていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

泉会員の60年をお祝いし、そしてコロナ禍でわれわれの例会が心細くなっていますが、やはり患者にならないで、絶対にクリスマスも例会もリアルでやっ行ってこうと祈念しながら乾杯させていただきたいと思っております。それでは、よろしく願いいたします。

「乾杯」

おめでとございました。

『さざれ石』と『盾』の説明 舟木 博会長

お食事中にすみません。吉田パストガバナーから「お前、ちゃんとやれ」というお叱りを受けましたのでご説明させていただきます。

右にある『盾』ですが、決して泉先生のところから持ってきたものではございません。当クラブから泉先生に『60周年の記念』として取り寄せた物ですので、間違いなくうちの会場で出しております。また、左の『さ



ざれ石』ですが、土橋君の土場から持ってきたものではございません。これは本当に天然の『さざれ石』です。いわれはヤマトタケルノ神が伊吹山の麓、その美濃寄りの所の谷にある『さざれ石』です。これは天然のもので鍾乳洞に石灰石があると思っておりますが、その石の一粒・一粒を何十万年とかけて凝縮させたものです。それが、国歌にも歌われております、千代に八千代の『さざれ石』です。

つまらない説明で申し訳ございませんでした。

ご挨拶 泉 敬君



皆さま、こんばんは。今日は60周年ということでかくも盛大にお祝いをしていただきまして誠にありがとうございます。ここでお祝いしていただくのは10年前になる50周年、ここでやっぱり同じようにお祝いしていただきました。

ロータリークラブでの周年祝いは、どうもランダムになっているのではないかと思います。山下さんは50周年祝賀会をやらないうで、米寿の祝いをやり、それから、私が50年記念祝賀をしていただいて、それから清水先生。本来なら60周年は梁瀬先輩が2年前になるはずだったのです。私がこのロータリークラブに入ったのは昭和36年です。その36年の年に釧路に戻ってきました。私の学校は東京だったので、研修所・修習生も東京でやりました。終わってすぐ釧路に帰ってきたのです。私が釧路に帰ってきて、この仕事・弁護士を始めてからちょうど60年です。60年はロータリーと同じ年数になりますが、つまり仕事を始めてすぐこの会に入れてもらったということになります。

当時の釧路ロータリークラブは、北クラブと釧路ロータリークラブと地区で分かれていました。始めは、全市が1区というか、釧路クラブしかなかったわけです。それが、私の入る3年くらい前に北クラブができて、釧路クラブから3分の1以上を北クラブに籍を移したのです。そんな関係で急激に釧路クラブのメンバーが少なくなったという時があったわけです。

その当時の入会資格は『1業種1人』という制限があって、弁護士になりたての私が入るような筋合いではないはずだったのです。それと、弁護士の枠では私の父親が弁護士をやっている、会員になっていました。だから、弁護士として入る余地がなかったと思うのですが、なにか父親はシニア会員になっていて、もう1人同じ業種から入れることが可能だったということで、当時、公証人をやっていた赤松さんが推薦者になって、私が入ることになったのです。

私とロータリーの縁は高校1年生のころだと思います。釧路のリチャーターの時に公民館の前で再開の会合でお祝いをした時に、家族も参加したこともあって、その時の写真に私も入って写っていたのです。その写真が70周年記念誌の表紙に載っているのです。その写真を見ると、端に高校生の私が学生服を着たままちゃんと写っているのです。おそらくロータリーに関

わった最初がその時と思います。それ以来、当時は父親が会員だったから家族ということで参加したのです。

当時のロータリーは日本全国が1区だったので、地区大会は日本全部でやるのです。釧路の人が参加する時は大勢が夫婦で参加していたようです。私が大学生時代に呼ばれてそれに参加をする時に、京都に付いて行ったことがあるのです。ロータリーとの縁は、入る前から少しあったのですが、入った時の年齢が26歳ということで、入ってみてビックリしたのは、会員は明治か大正の人ばかりで、昭和の人は1人だけ。梁瀬さんが私より2年前に入っていて、昭和生まれの会員は私が2人目だったのです。

釧路も、私が戻った翌年にやっと釧路空港が開業し、今の釧路駅が新しい駅に建替わった年だったのです。街から釧路空港へ行く道路はまだ舗装されていなくてガタガタ道で大変という状態でした。

私は修習が終わって資格を取ってすぐ釧路に帰って来た

のですが、その当時の釧路の人口は15万人くらいだったと思います。それから徐々に人口は増えて結局、23万人くらいまでなりました。終戦当時の釧

路は5万人と少ししかいなかったのです。「釧路が小さくなった」というけども私の記憶では、中学校の時の街の規模は駅から北の方は道路が1本あって、あとは原野だったのです。小学校の頃は駅裏にオタマジャクシを捕まえに行ったりして、ここ60年の間に釧路は大きく変わったのです。

ロータリークラブも、私が入った当時はまだチャーターメンバーがいました。記憶しているのは嵯峨さん。両角元ガバナーも北に移ってはいいましたが、釧路の名誉会員になっていて、籍が釧路クラブにあったと思います。もともと釧路クラブですから。

丸三鶴屋を境にして四丁目から駅側と橋の方角と地区を二つに分けたのです。釧路クラブはももとの釧路クラブです。丸三鶴屋、今でいう北洋銀行から駅側に住所か住宅のある人、仕事場がある人は北クラブに移るといふ形です。ただし、全市的な職業の人の何人か、日銀、その当時の釧鉄の人は釧路クラブに残ったのです。場所は移ったけれども今でも日銀は残っていて変わらず、居住している場所が釧路クラブの範囲ということもあったと思います。

当時、移った人を見ると幹事も全部移ったのです。だから、大変だったと思います。とにかく会員が激減したことで、大正生まれの川口さんが「もう、われわれも入れないところに、そういうことで入れられた」と

よく言っていました。柳瀬さんも同じようなこと言っていました。そんなので、私も入ったわけです。

入ってみたら、出席が厳しかった。道内が1地区だったので、地区内のクラブが出席率の競争をするのです。毎月のトータルを出して「どこのクラブは何%出席だ」とクラブ同士が競争するものですから、休むと先輩に怒られるのです。それで「休めない」ということで5年、10年『無欠席』という人はざらにいる状態だったのです。私もそんなところに入って肩身も狭く、周りは父親と同年輩の人ばかりで食事の時も居心地がいいわけではないながらも、特にメイクアップしようにも、その当初は北クラブしかないので大変だった。そのうち北クラブだけでは間に合わなくなって弟子屈へ行ったり、あるいは厚岸もできて、白糖もできたことで、メイクアップのためだけに出席したことがしばしばありました。出張している時は札幌でもよく出だし、東京でもみんなが参加していて、毎週、誰がどのクラブにメイクアップしたかを全部会報に書いて出てくるから、なかなか休めない状態で出席は非常にいい状態できました。

私が60年ここにいられたのは、私の仕事であまり代理を立てることができなかったから、1年間を通して潰れるようなことは先輩が配慮してくれて、びっちり1週間、1日と時間を取られるような委員会から外してくれたおかげです。言われたら断れないというのが大体の原則で、そのために「いられない」と辞めた人が随分いました。そんな中で60年こうやって会員として籍を置くことができたのは、そういった配慮をしていただけたからです。そこは先輩に本当感謝しています。

その代わり、会長の時は断ったのだけど駄目だったのです。私は平成4年に中村さん（パシフィックホテルの社長）から「この次は、お前がやれ」と言われて、川口さんに「何とかうまく断ることできないか」と言ったら「駄目だ」と言われて、「ロータリーのこれだけは断れない」ということで会長を務めさせていただきました。おかげさまで、会長一人でやるわけではなく、皆さんが寄ってきて助けてくれて何とか無事にやることができました。いろんなことをやりましたけれど、それは皆さん、手分けして分担してやってくれたので、会長が1人でやったことはひとつもないです。

私が会長をやっている時にささえてくれた会員は、ほとんど故人になってしまって、いま残っているのは、小船井君や、今いる横田君のお父さん、それから、天方さんのお父さんにも大委員長をやってもらった。ということで、副会長をやってくれた山本君も亡くなってしまったし、みんな亡くなってしまったけれども、皆さんに支えられて何とかここまでできました。私も特に健康だったわけではなくて、今までに3回、4回ほど長い間入院しています。沖縄で倒れた時は1



回死んだみたいなので、4～5日全然意識がなかったから「もう死んだ」という話になったことがあるのです。一緒に旅行していた栗林君に息を吹き込んでもらったということもあって、一緒に行っていた人たちの手当てが非常に良かったということで、命拾いをしました。

それから、もう5年経ちましたが、そしたら今年ってから癌が見つかって、手術をしました。手術をしてダメかなと思っていたら透析も始まって、今のところ1週間に1回ですが、まだ、「もう少し生きていなさい」というようなので、これからも皆さんに支えられながら、もう少し頑張ります。

60周年の時に「昼飯会員で漫然と30年過ごした」と申し上げたのですが、その後、また30年経って、結局60年もロータリーで寝て暮らしてみたいな、昼飯だけ食べに来るみたい会員で誠に申し訳ないです。もうたぶん重圧はないだろうと思うのですが、皆さんのおかげでこうやっていまだに会員として甘えているのです。私が仕事を一生懸命やっていた時代の、一緒にやっていた人たちはほとんどいません。いないのはしょうがないと思うけれども、長くいると、みんな歳をとって辞めて、いなくなっちゃうのです。私は幸いゴルフを長くやっている関係で、このメンバーの中でゴルフやる人とはずっと接点が続いているから、なんとなく続いてきたと思っています。あと、70年は無理にしても、今度の60年になるのは清水先生ですから、清水先生の60年を一緒にお祝いできればと思ってもう少し頑張りたいと思います。今日は本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

(手に手をつないで)



中締めのご挨拶 尾越 弘典会員



皆さん、こんばんは。10年前、私がロータリーの会長をやった時に泉先生の在席50年のお祝いをしました。その時の幹事が今回の会長の舟木会長です。私

が50年在籍の時の会長、舟木会長が60年在籍の時の会長ということで、これも何かの巡り合わせかなと思っていました。

先生とは、私ずうっと下手ですけどゴルフをやっている、私もロータリーに入ってから38年いるのですけれど、その間先生とゴルフをやらせていただきました。成績は先生の方がいいのです。私も好きだったので熱心なゴルファーではないので、今でも先生にはかないません。

ゴルフと言えば『エイジシュート』、1ラウンド18ホールのスコアが自分の年齢よりも低く・少なく上がるのですが、それはプロでもアマチュアでも難しいのですけども、先生は数年前にエイジシュートをやっています。80代で、ですよ。80代でのエイジシュートは本当に素晴らしいことで、私の今のスコアは100前後なので、100歳まで生きてゴルフができるかと思っています、先生は素晴らしいことだと思っています。

エイジシュートをやるには体力もなければいけないし、当然ゴルフの技も上手でなきゃできないのです。これにはどういう秘訣があってできるのかを考えました。先生は86歳になるとお聞きしました。ここまで元気でゴルフをされるのは、日頃から健康に気を付けておられるのだらうと思っています。

ここにいらっしゃる皆さんも、ゴルフをするのなら80代でエイジシュートを絶対対う気持ちで健康に注意して頑張ってください。

最後になりますが、先生はロータリーをこよなく愛しました。先生を見習って、今日は皆さんで泉先生に「おめでとう」と言って最後にしたいと思います。ご唱和をよろしく願います。

本日のニコニコ献金

- 邵 龍珍君 10月10日に末広町に新店舗をオープンしました。コロナ禍の中、ご案内も出さずこっそり開店した事をお詫び申し上げます。
- 菅原 顕史君 FMくしろで番組をもつことになりました。月1回で初回放送は11月30日午前8時5分ごろです。番組名は「お坊さんママのおてらジオ」どうぞお聴き下さい。

今年度累計 186,000円